

はま Y U



福定の大銀杏

Vol.
4
2006.秋号

CONTENTS

- 谷口院長就任に
あたってのご挨拶…………… 3
- 2006年度事業計画…………… 4～5
- 診療の実績2005年度…………… 6
- 小児科診療の再開
病院機能評価認定更新…………… 7
- 専門外来のご案内
「心療内科・漢方外来について」… 8～9
- 白浜はまゆう病院「健康教室」… 10
- 外来・入院アンケート…………… 11～13
患者様満足度調査結果発表
- 患者さまからの声…………… 14
- 日置診療所より…………… 15

365日・24時間の救急対応

白浜はまゆう病院は、夜間・休日を問わず救急医療に対応しています。

(財)日本医療機能評価機構 認定施設複合病院(一般・療養) Ver.5.0



- 白浜はまゆう病院 外来診療担当表
- 専門外来のお知らせ

理念

私たちは、地域に根ざした医療機関として、最高の誠実さと最大限の努力で、親切で質の高いサービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりを行います。

基本方針

いつでも
だれでも
みんが、
あんしん。



1. 利用者の権利の尊重

私たちは、健康増進から看取りまで、利用者の状態のいかんにかかわらず、利用者の皆様の気持ちや権利を大切に医療とケアを提供します。

2. 地域に開かれた存在

私たちは、24時間いつでも、誰でも、困った時は気軽に受診・相談していただける、地域に開かれた医療機関・サービス提供機関を目指します。

3. 協力と連携

私たちは、院内各職種が手を携え、地域の他機関とも協力連携し、健康増進・診断と治療・リハビリテーション・看取りまでの一貫した包括的な地域医療と福祉を提供します。

4. 利用者とのパートナーシップ

私たちは、患者・利用者の皆様との協働作業として、安全で質の高い医療・ケアを提供します。

5. 事故・災害への対応

私たちは、大規模な自然災害や事故に対応できるように、普段から備えを強め、いざと言うときに頼りになる病院を目指します。

患者・利用者の皆様の権利と義務について

1. 平等

人種・宗教・社会的地位などのいかんに関わらず、すべての方々は、適切な医療・ケアを受ける権利があります。

2. インフォームドコンセント

病状や医療・サービスの内容については、分かりやすい言葉と方法で、十分な説明を受ける権利があります。また、医療の内容やサービスの内容について、自らの意思で選択する権利があります。

3. 情報開示

自分の診療の記録やサービスの記録の開示を求める権利があります。

4. セカンドオピニオン

自分が受けた検査結果や治療法の説明などに対して、他の医療機関の意見を求め、また医療機関を自ら選択する権利があります。

5. プライバシーの尊重と保護

自分の個人情報やプライバシーについて、尊重・保護される権利があります。

6. 利用者の参加

治療やサービス提供に必要な、自分の健康に関する情報を正確に伝え、説明を受けたときには、十分理解できるまで質問するなど、利用者自身も医療やケアに積極的に参加するように努めてください。

7. 規則の遵守

他の患者・利用者の治療や職員の業務に支障をきたさないように、病院の規則を守るよう協力をお願いします。



白浜はまゆう病院
院長 谷口友志

この度、私は松尾前院長の後任として2006年5月16日より院長に就任いたしました。白浜医療福祉財団設立当初より亀井元院長とともに強烈な指導力を発揮し、機関車のごとく財団全体を引っ張ってきた前院長のリーダーシップには及ぶべくもありませんが、より一層地域の皆様方から信頼していただけるよう、職員一同力をあわせて頑張っている所存でございますので、今まで同様ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

さて、周知のごとく我が国は急速な勢いで高齢化社会に突入しつつあります。2006年3月、白浜町と日置川町が合併し新しい白浜町が誕生いたしました。新田辺市も含め多くの過疎地域を抱える当地域におきましては、少子高齢化はさらに厳しい状況にあると同時に、一方、核家族化と企業の大都市集中により、長期療養が必要にもかかわらず近くに介護する次世代の家族が居られない高齢者の方々や、所謂老老介護世帯の割合は今後とも増加の一途であろうかと存じます。このように家族の介護力が極めて低下しているわが地域におきましては、行政側のさらなる支援対策が鶴首されるとともに、当院のような地域密着型の病院がその介護の役割の一端を担っていかなくてはならないものと確信しております。院内の看護・介護体制の充実、在宅復帰へ向けてのリハビリテーション、在宅診療の更なる向上・整備を今まで以上に積極的に行ってまいりたいと考えております。

診療面につきましては、昨年度に電子カルテの導入や放射線関係診断装置の最新鋭機器への更新、マンモグラフィーの導入等ハード面でのリニューアルが行われております。恒常的な各科医師不足改善に対する努力、看護師の確保等診療体制の一層の充実を図ると同時に、日進月歩の医学の進歩に取り残されることのないよう常に研鑽を怠ることなく医療業務に邁進していく所存です。症例数においては大学病院のような大病院にはかないませんが、個々の患者様やご家族のニーズに沿えるきめ細やかな小回りの利く医療の提供を目指したいと思っております。

どうか今後とも変わらぬ御理解と御支援をお願い申し上げます。

2006年度の主な事業計画

2005年10月の介護療養病棟の報酬改定に続き、本年4月に医療・介護制度の改革が同時に実施される。診療報酬は、3.16%という大幅なマイナス改定となる。特に、介護療養病棟の廃止と医療療養病棟の縮小等療養病床の再編策が打ち出されており、ケアミックスの形態をとり療養病床比率の高い当院は、病床利用形態の転換に対応していかなければなりません。

医師不足の状況は、更に深刻さを増しており、看護師確保においても厳しい状況が生まれている。

地域においては、2006年3月に新白浜町が発足し、旧日置川町エリアの医療・保健・福祉のニーズへの対応も含めた公益事業の推進が求められており、各事業の充実・発展に総力をあげ、地域住民等の健康と福祉の向上に寄与していく。

病院運営においては、医師体制の確立と看護体制の維持が先決課題である。病院機能評価の認定更新の取組み、電子カルテシステムを有効に活用して、診療及び経営の向上に努めるとともに、財団が運営する診療所及び他医療機関・介護施設等との連携を進め、地域医療の充実に努めていく。

1 公益事業

(1) 財政基盤・組織体制を強化していく。

運用財産を拡充し、自己資本比率の向上に努める。

(2) 「理念」「基本方針」「患者・利用者の皆様の権利と義務について」の推進に努め、年度末に見直し検討を行う。

(3) 「新病院会計準則」及び「新公益法人会計準則」に基づく財務運用・会計処理を行う。

(4) 院内研究発表大会を開催し、医療・ケア・サービスの向上に努める。

(5) 「健康教室」を定期開催し、地域住民の健康意識の向上に努める。

(6) 「年報」「院内外情報誌」を定期発行し、情報を共有し円滑な組織運営に努める。

2 白浜はまゆう病院

(1) 「情報管理室」を設置し、情報管理及び電子カルテシステムの管理・運用業務を所管する。

(2) 「臨床心理士」を配置し、臨床におけるメンタルヘルスケア、他機関からのカウンセリング等の依頼、職員への精神面でのサポート等に対応する。

(3) 介護療養病床の廃止及び医療療養病床の再編政策の内容を見極め、有効な病床利用形態への移行を検討していく。

(4) MR I の更新を検討する。

(5) (財)日本医療機能評価機構の訪問審査を受審し、病院運営のレベルアップを図る。

(6) 医師派遣を受けている大学医局との関係を維持するとともに、医師求人情報の発信等あらゆる方法を駆使して医師の確保に努める。

① 内科医師の確保に努める。

② 整形外科 大学に3名派遣をお願いしていく。

③ 小児科 本年4月より小児科診療を再開する。

④ リハビリテーション科、健診担当医師を募集する。

(7) 医療相談室・地域医療連携室を窓口にして、医療・保健機関、福祉施設、介護保険施設等との連携関係を構築していく。

(8) 職員及び委託先従業員に対する感染防止に関する教育を行い、事故防止対策を講じていく。

(9) 安全で危機に強い病院づくりを進める。

(10) 経費の節減、コストパフォーマンスを徹底し、健全経営の維持に努めていく。

3 西富田クリニック

- (1) 万全な医療を提供し、安心してかけられる、心やさしいクリニックづくりを進める。
- (2) 白浜はまゆう病院との連携により、地域における外来診療機能の充実に努める。
- (3) 訪問診療を継続し、「在宅療養支援診療所」の体制づくりを検討し、在宅医療の充実に努める。

4 鮎川診療所

- (1) 地域に密着した運営を行い、気軽にかかれる診療所づくりに努める。
- (2) 診療所施設・設備を活用し、外来診療機能を高め経営の安定に努めていく。
- (3) 検査シャトル便の活用等、財団関係施設との一体的な運用に努める。

5 日置診療所・三舞診療所

- (1) 地域に密着した運営を行い、気軽にかかれる診療所づくりを進める。
- (2) 患者動向等の状況変化を解析し、診療所運営に反映させながら経営の安定に努めていく。
- (3) 検査シャトル便の活用等、財団関係施設との一体的な運用に努める。

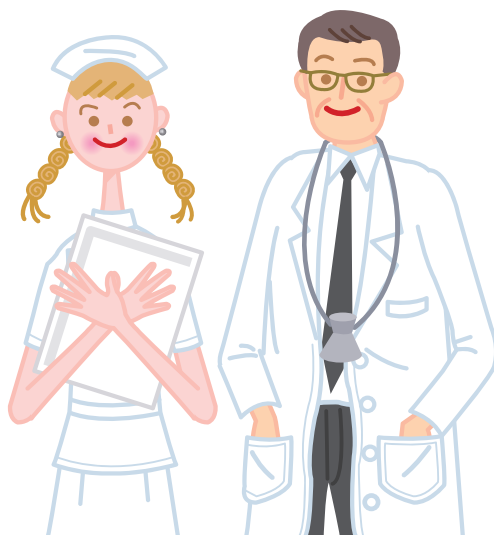
6 訪問看護ステーションたんぽぽ

- (1) 利用者が住み慣れた家で家族と共に過ごせるよう環境を整え、生活の質を高めて自立して生きられるよう援助していく。
- (2) より質の高い看護・リハビリの提供に努める。
- (3) 利用者拡大による経営の安定向上に努める。

実利用者125名(訪問看護:月350回、訪問リハビリ:月280回)

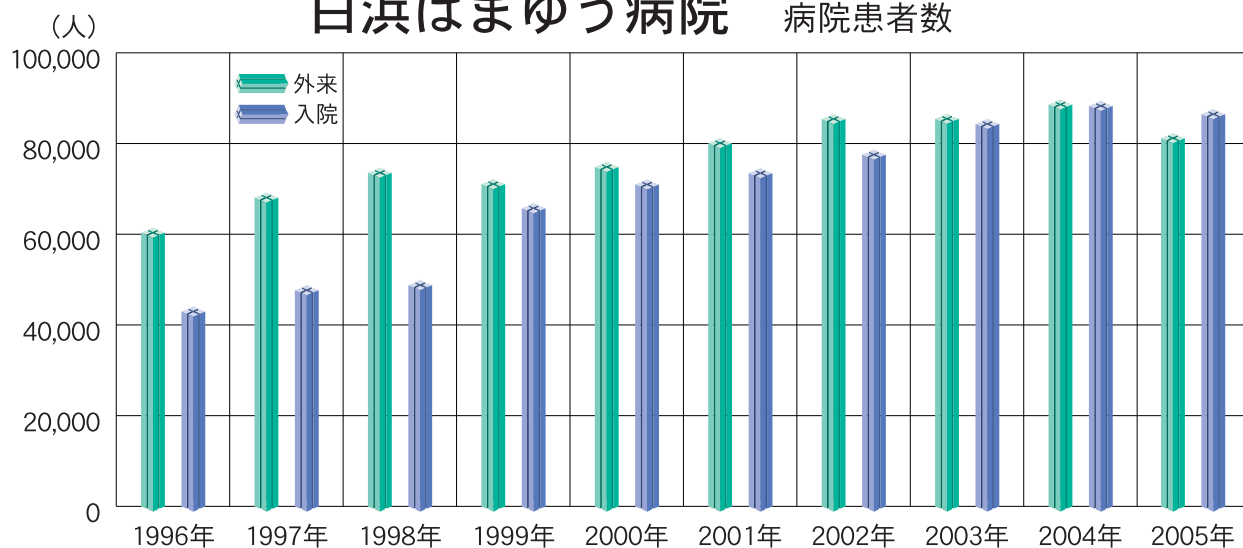
7 在宅介護支援センター

- (1) 行政機関・サービス提供事業所と連携し、利用者にふさわしい居宅介護支援計画等を提供する。
- (2) 適切な介護予防サービスを受けられるよう支援し、介護予防サービス計画を提供する。
- (3) 「介護予防教室」等の介護予防事業を実施する。



診療実績

白浜はまゆう病院 病院患者数



		1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
病 院 患 者 数	外来	60,341	68,082	73,553	71,057	74,836	80,091	85,418	85,462	88,604	80,747
	入院	42,959	47,662	48,785	65,727	70,972	73,461	77,541	84,322	88,291	87,322

※1996年眼科・皮膚科診療開始。リウマチ科・リハビリ科標榜。 ※1997年耳鼻科診療開始。
 ※1998年神経内科診療開始。 ※1999年新館3階病棟使用開始。 ※2000年婦人科外来診療開始。
 ※2001年泌尿器科診療開始。 ※2002年許可病床変更(270床)。 ※2003年回復期リハ病棟開始。
 ※2005年小児科の一時休診。

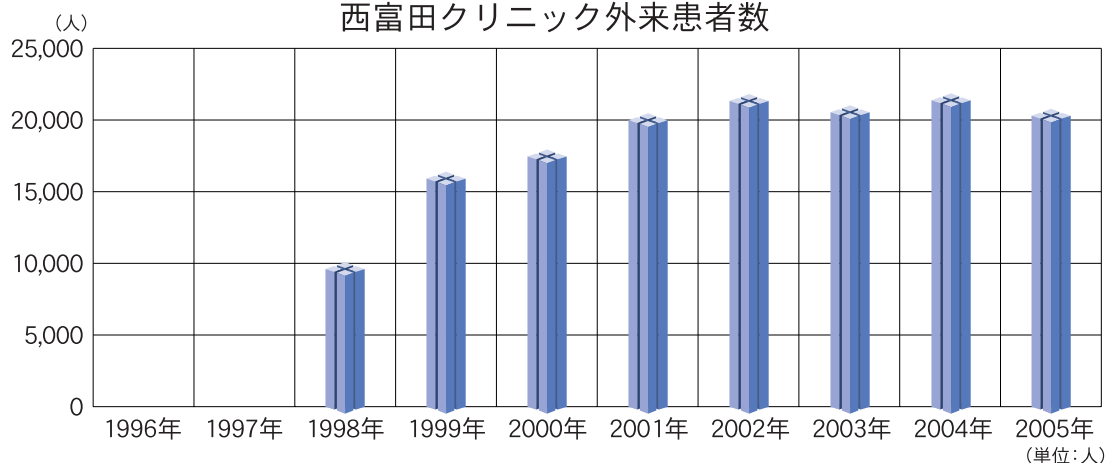
'05年度 おもな手術件数

内 容	件数	内 容	件数
人工関節置換術	63	肝動脈塞栓法(TAE)	17
人工骨頭挿入術	7	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼法	14
内視鏡的ポリープ切除術	52		

'05年度 おもな検査件数

内 容	件数
胃 カ メ ラ	1,501
大 腸 カ メ ラ	199
気管支鏡検査	12

西富田クリニック外来患者数



	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
西富田クリニック外来	—	—	9,608	15,915	17,462	19,991	21,333	20,545	21,380	18,962

※1998年7月西富田クリニック診療開始。
 ※2005年整形外科診療時間・縮少。

お知らせ

小児科の診療を開始いたしました。



小児科医長
古久保 和洋

こんにちは！はまゆう病院小児科古久保和洋です！

少子化社会といわれ久しくなります。合計特殊出生率(女性が一生に出産する子供の数)も1.3を下回り、日本の人口はすでに減少に転じています。われわれにとっても、子供たちにとっても将来の不安が大きくなりつつあります。少子化対策という面でも、われわれ小児科医は、子供の病気を診るのみならず、医療面から少しでもお父さん、お母さん方の負担を軽くできるよう勤めて努力せねばならないと考えています。また、病気そのものの治療することも大事ですが、病気の裏に隠れた社会的要因を見逃さずに心の不安を解消することも最近では重要視されています。病院での診察は一般外来のみですが、子育てに関するご相談にも随時対応していきますので、ほんのちょっとしたことでも気になることがありましたら、気軽におっしゃってください。



病院機能評価Ver.5.0の 認定更新を受けました

病院機能評価本部会議 事務局 布袋 仁也

当院は2006年4月に、病院機能評価Ver.5.0の認定更新の審査を受審しました。(財)日本医療機能評価機構から評価者8名が来院し、3日間に渡りさまざまな観点や評価項目に基づいて当院の状況を審査しました。まさにスミからスミまで、微に入り細に入り…といった感じで、最後に評価者をお見送りするまで一瞬たりとも気が抜けない3日間でした。そして待つこと4か月、ついに結果通知があり、当院は和歌山県下初の病院機能評価Ver.5.0の認定を受けることができたのです。

病院機能評価について少し説明させていただくと、(財)日本医療機能評価機構という団体が行っている、病院の機能を中立かつ公平に評価することを通じて病院の自発的な改善を支援してよりよい病院を作っていきましょうという事業です。いま、医療をとりまく環境や患者さまのニーズは多様化し、安全で質の高い医療を提供することや医療に対する信頼を確保することが難しくなっています。そういった中で、客観的な第三者評価に基づいて病院の実力を測るものさしとして、病院機能評価は医療の分野で広く周知されているのです。病院機能評価で求められることは、「たくさんの職種が参加する病院づくり」、「限られた資源のムダのない活用」や「問題点を見つけて改善しようとする努力」など多岐に渡ります。大事なことは、自分はこの病院で何ができるのか、この病院はこの地域で何ができるのかという意識を常にもって、日々の工夫と知恵で改善を続けていくことだと思います。

今回、認定を受けたことにより、これまでこの地域において微力ながら積み上げてきた当院の実績や財団理念の実践への努力を評価していただけたと認識しています。そして、今回いただいた認定証の重さを深く受け止め、地域の方々が安心して当院を利用していただくためにいっそうの研鑽を重ねていきたいと考えています。

当院は病院機能評価認定に対して実に多くのエネルギーを費やしました。これからはそのエネルギーを地域のみなさまにむけて、よりよい病院づくりを続けていきたいと思っています。今後も厳しく暖かく当院を見守っていただければ幸いです。

専門外来を始めました

毎週水曜日

受付時間 13:30~16:30

診療時間 14:00~17:00



内科部長 立田 ひで秋

「心療内科・漢方外来について」

漢方、心療内科、一般内科を担当させてもらっている、立田ひで秋と申します。

漢方は保険のエキス剤(顆粒)を使用しています。一般的には、検査データには異常が無く診断がはっきりしないが辛い、免疫力を高めたい、体質を改善したいといった場合に良く用いられます。

しかし諸々の疾患に補助療法として併用することもあります。その他急性疾患にも著効を示す場合があります。その中で何より適応なのが、風邪です。

風邪は90%はウイルスが原因なのですが、これに有効な薬はありません。通常は対処療法のみになり、抗生剤は一切無効、解熱剤も害はあっても利益にはなりません。

漢方では免疫力を高め、早期に服用すれば、半日で効果が出ることもあります。

そもそも発熱というものは身体に異常が生じているという危険信号であり、ウイルスなどをやっつける武器でもあります。発熱すると白血球のパワーが増加するのです。それなのに解熱剤を投与するということは、警報のスイッチを切り、衛兵の武装解除をして静かになったと安心するようなも

のです。通常は発熱が身体に直接害をもたらすことはありませんが、小児の熱性痙攣、体力の落ちた高齢者の脱水では注意が必要です。

風邪に抗生剤を乱用することが、耐性菌出現の一因にもなっています。ウイルス感染には一部を除き漢方が第一選択になります。インフルエンザの特効薬とされる「タミフル」でさえデータ上は発熱期間を2日ほど短縮する程度の効果で、ウイルスを殺すことはできず、増殖を抑制するだけですから、増殖がピークになる48時間以内に服用しないと意味がありません。

また若年者では色々副作用も問題になっています。

漢方は当然インフルエンザにも著効を示します。ただし難しいのは、西洋医学的な病名が決定しても、その人の体質、病期その他に違いがあると使用する漢方も異なってくるので、体質にあった漢方でないと効果がでずらいということです。去年風邪で葛根湯が良く効いたから、今度も葛根湯が有効かどうかは分かりません。また以前頻用された、肝機能障害に対する小柴胡湯の使用も有効なこともあります。明らかに間違いです。原典において小柴胡湯は、感染症が少し進行して、胃腸障害が出現し、心身のバランスも不安定な状態に使うものとされています。胃腸薬入りの風邪薬というとらえ方はできますが、肝炎という病名だけで使用してはいけません。

体を乾燥させる傾向があるので、元々乾燥気味の高齢者では長期投与に注意しないといけません。

その他サプリメントにも利用されている副作用の少ないお薬、α-リボ酸、コーキュー-10、タウリン、EPAといったものも保険診療で利用しています。

その次に心療内科のお話に移ります。

心療内科とは本来の目的はとりあえずおいといて、内科と精神科の中間的存在と解釈しても良いでしょう。ストレスなどが引き金になり、体にも症状が出てきた場合、軽いうつ状態、軽度のパニック障害などが対象になります。

うつ状態では場合によっては入院して点滴が必要になることもあります。

環境が(良くも・悪くも)変わったり、ストレスが続いたあとなどに、慢性的な疲労感・憂鬱な気分・やる気の低下・今まで楽しかったことへ興味がわかない等の症状がある程度以上続いたら、うつ状態の可能性がありえます。

現代のストレス社会においては、うつ状態が非常に増えていると思われます。怠け者はなりづらく、がんばり屋さんに多いといえます。心の風邪のようなものともよく言われます。

この場合使用される抗うつ剤というものは精神科や心療内科の分野では、もっとも使いやすいお薬で、依存性・耐性といった副作用の心配もありません。ただし即効性が無く、効果が出るのに1ヶ月くらいかかる場合もあるところが欠点で、さらに開始当初はだるさや眠気が出てかえって悪くなった気がすることもあります。そこで中止しては治療が逆戻りですからちょっと我慢が必要です。



白浜はまゆう病院「健康教室」のご案内

私ども白浜はまゆう病院では公益活動の一環として、地域の皆様の健康増進にお役に立てるよう「健康教室」を開催しております。

医師、看護師、薬剤師、管理栄養士などの専門職が講師となり、身近な健康に関するテーマを分かりやすく説明し、予防と治療そして健康づくりに役だてて頂きたいと願っております。



今までの教室内容

	開催日	会場	講師	テーマ
第1回	2006年1月24日	白浜町 中央公民館	産婦人科部長 國部久也	Women's health－女性の体・健康を考えてみませんか？
第2回	2006年3月29日	白浜町 中央公民館	内科部長 立田ひで秋	心の健康及び自然療法について
第3回	2006年7月12日	白浜町 中央公民館	副理事長・顧問 松尾晃次	COPD21世紀の重大疾患 ～タバコと肺～

参加された皆様からのご意見として

- ・ 講師の人柄が察せられ安心して受診してみようと思った。
 - ・ 自らの生活を見直すよい機会になりました。
 - ・ 日頃軽く見逃している疾患も、話を聞いて恐ろしくなりました。
 - ・ 内容が難し過ぎる。
- など多数の意見が寄せられ又、今後の教室テーマについてもアンケートを頂きました。

今後のテーマ

*****生活習慣病とメタボリックシンドローム*****

生活習慣病といわれる高脂血症（脂質代謝異常）、糖尿病（糖代謝異常）、高血圧、肥満などの複数の危険因子が重なると、それぞれは軽度または中程度であっても心筋梗塞や脳梗塞を起こしやすくなります。そこで危険因子を個別にみるのではなく危険因子が重なっていることを重視し治療・予防を考えようというのが「メタボリックシンドローム」（代謝性症候群）です。

その元をたどると、肥満、とくに内臓の周りに脂肪がたまる内臓脂肪型肥満が大きく関係しており、内臓脂肪を減らすことで発症リスクが少なくなります。医療制度改革の中でも予防事業の大切さが強調されており、今後市町村による様々な生活習慣病対策がとられることとなります。

過食、高脂肪食、糖質食、運動不足、ストレスなど、日々の生活のひずみが原因とされる生活習慣病。その原因と対策について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

外来・入院 アンケート調査



集計結果発表

ご協力ありがとうございました

去る2月20日から3月7日まで、「患者さまのご意見をお伺いし、今後の患者サービス向上に役立てる」という主旨のもと、アンケート調査を実施しましたところ、多くの患者さまにご協力いただき、誠にありがとうございました。

また、150を超えるご意見、おしかり、お褒めの言葉を頂きました。

頂きました貴重なご意見は、院内にて協議し業務の改善に努めて参ります。

集計結果をご報告し、ご意見について一部ですがお答えさせていただきます。

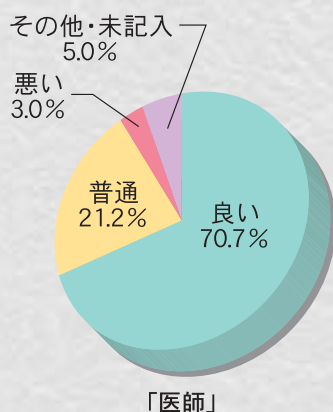
また、院内には「ふれあいの箱(ご意見箱)」を設置しておりますので、何かお気づきの点がございましたらご利用ください。

外来

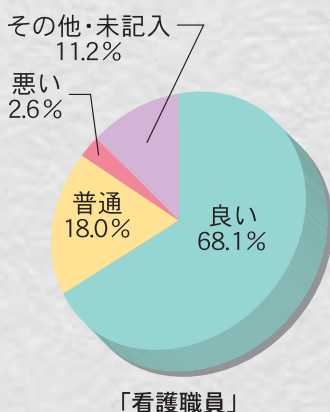
スタッフの対応について

【調査日】2006年2月20日～3月7日

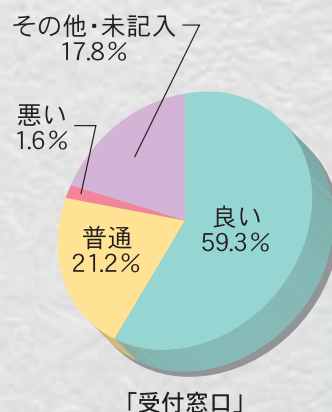
外来患者総数・・・3,418名 アンケート用紙配布総数・・・650枚 有効回答枚数・・・499枚 配布総数の回答率・・・76.8%



「医師」



「看護職員」



「受付窓口」

病院へのご意見

Q 熱のある時は気をきかせて少しでも早く見てくれる様お願いします。

A 検査や診察の順番は、受付順、予約順を原則にしています。お待ちいただいている患者様の状態に目を配り状況に応じて、臨機応変の対応がとれるように努めます。

Q 予約時間通りに行かない事が多い。遅い時ばかり。(診察)

A 診察に時間がかかり、予約時間通りに進行できない場合があります、ご

迷惑をおかけして申し訳ございません。各診療科の実態に即して予約間隔をあけるなどの工夫を致します。

Q シャトルバスの昼からの便が欲しいです。

A 午後の便は今年度中に2往復増便致します。合わせて乗降し易いノンステップバスの導入を検討しています。

Q もう少し後ろにもたれられる椅子にして欲しい。待ち時間が長くなってくるとしんどい。

A 古くなってきている椅子もあり、次回購入時に検討させていただきます。

Q とっても熱心で私の苦痛や困った事にも一生懸命答えてリハビリして下さいます。思いのほか自分は早く治ってきていると本当に感謝しています。有難うございます。皆さん良い方ばかりです。

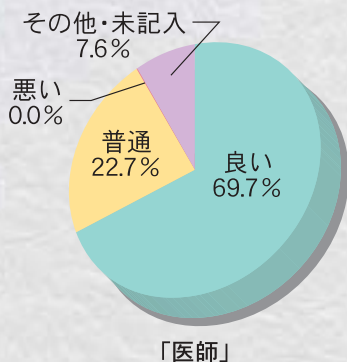
A ありがとうございます。

Q 医師、看護師さん達の親切な対応してくれて患者は本当に有難く心がいやされて感謝しています。

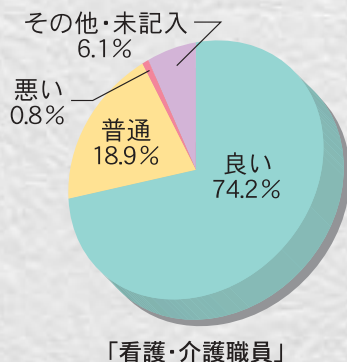
A ありがとうございます。

【調査日】2006年2月20日の在院患者さま

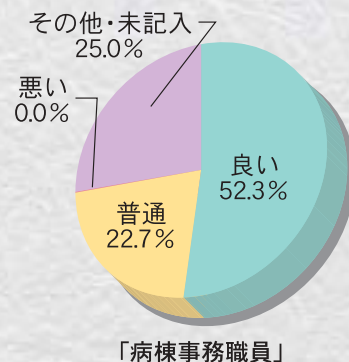
入院患者総数・・・241名 アンケート用紙配布総数・・・241枚 有効回答枚数・・・132枚 配布総数の回答率・・・54.8%



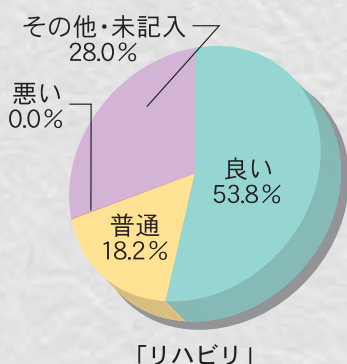
「医師」



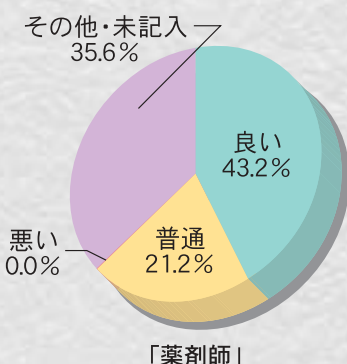
「看護・介護職員」



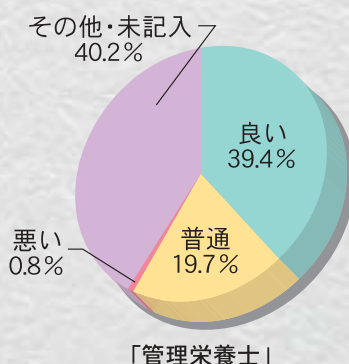
「病棟事務職員」



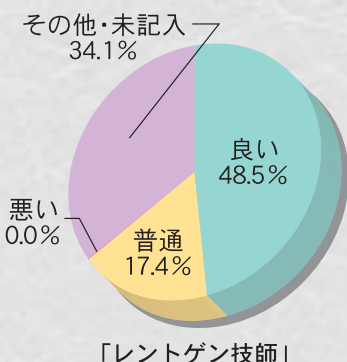
「リハビリ」



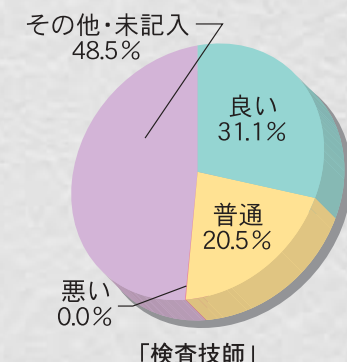
「薬剤師」



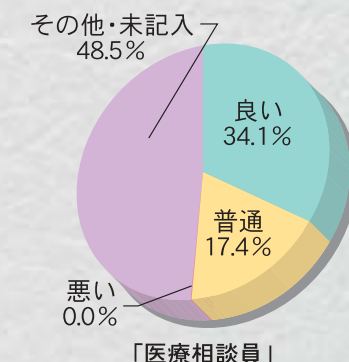
「管理栄養士」



「レントゲン技師」

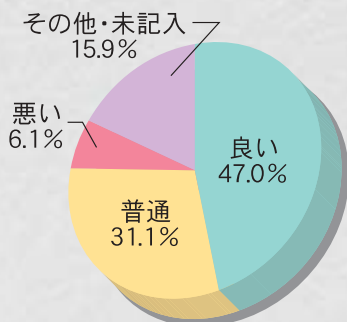


「検査技師」

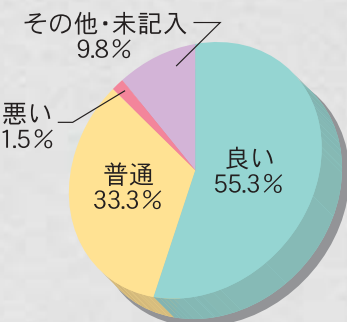


「医療相談員」

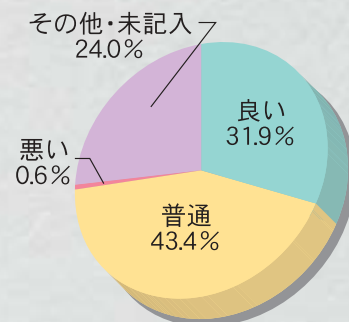
食事内容について



病棟設備・療養環境について

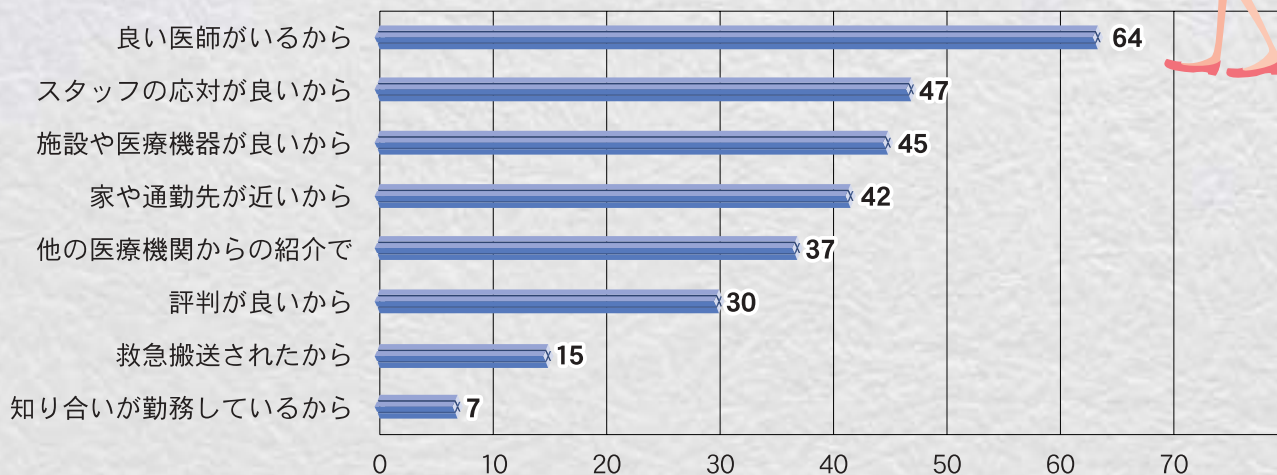


設備・検査機器について

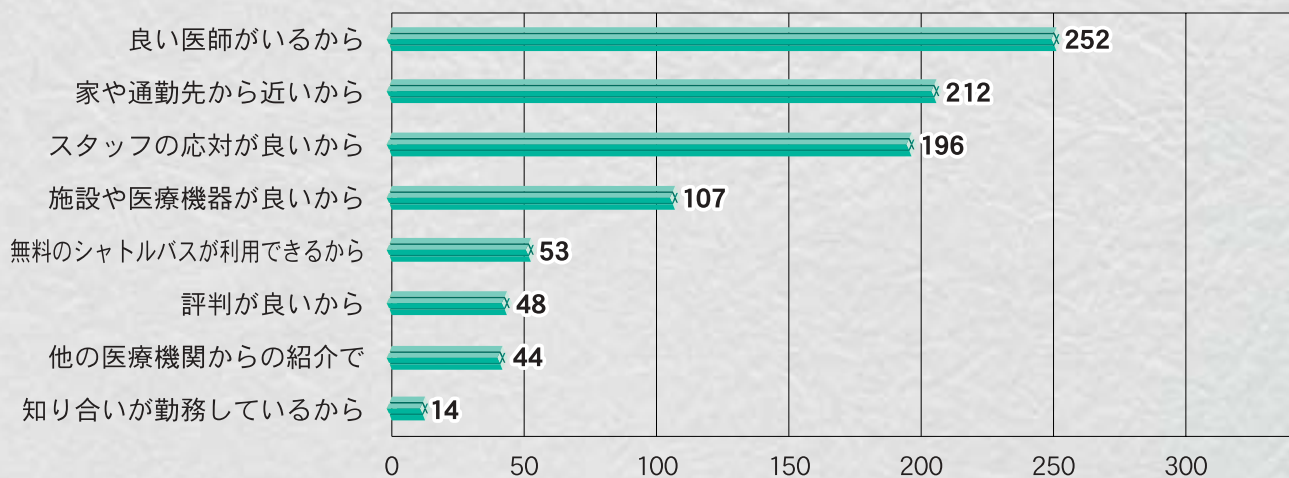


当院を選んだ理由は何ですか？(3つ以内で選択)

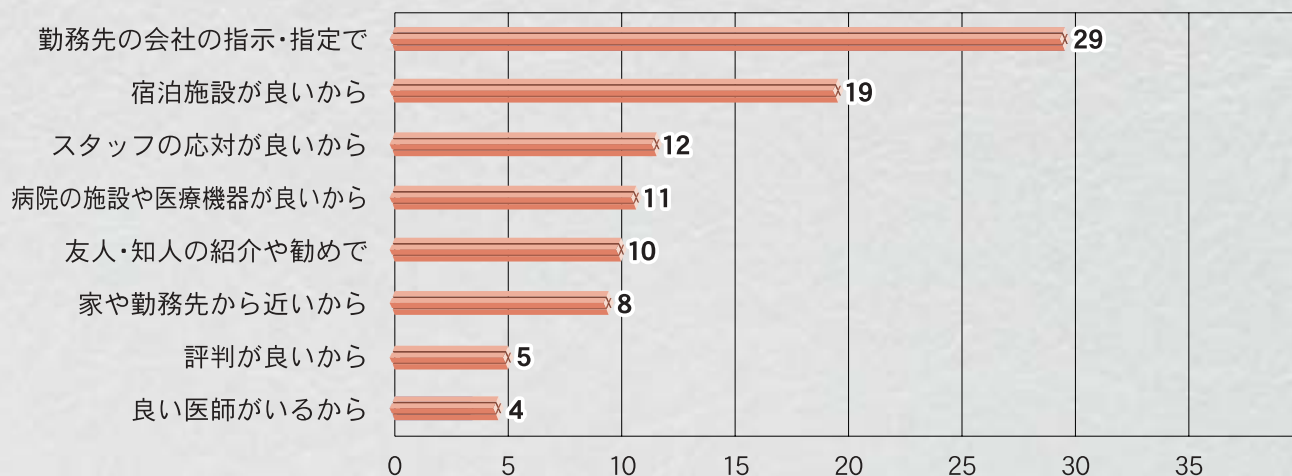
入院



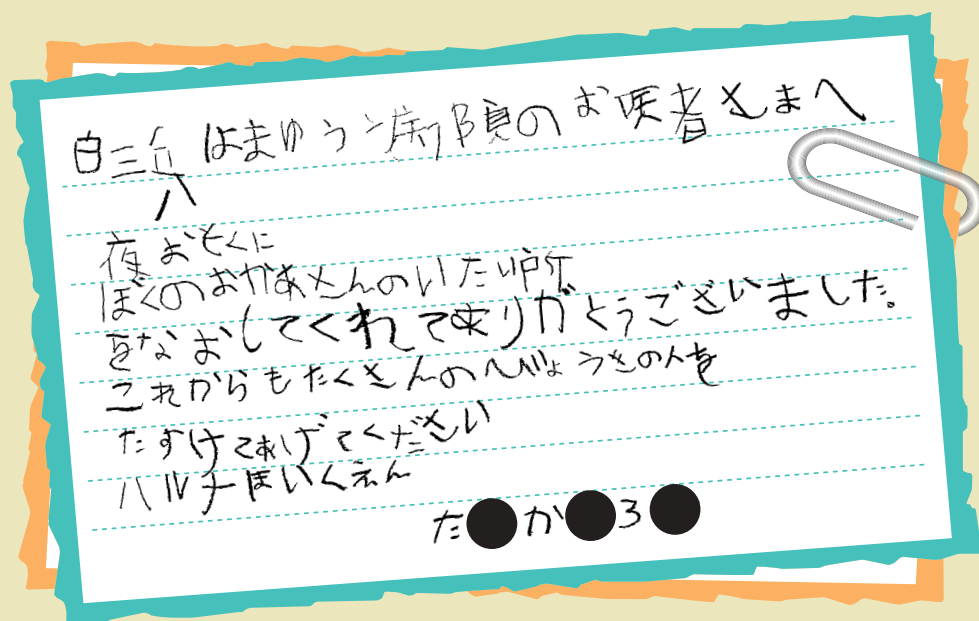
外来



人間ドック・健診センター



患者さま からの 声 Voice



Q 一人の人に特別扱いはやめてください。側
で見ても悪い印象を与えます。差別は絶対
しないで下さい。差別は人間最低のすることです。
腹がたちます!!

A 患者様への対応において、このような印象
を与えていることは、誠に残念であり、申
し訳なく感じております。

診察や看護を行なううえで、患者様お一人お一
人の気持ちや人権の大切さを認識して、常に公平・
平等に接することが求められていますが、その認
識に欠けていることの現れであると、深く反省し
ております。

医療に携わる者としての自覚を高め、理念・基
本方針並びに職業倫理・医療倫理の精神を日々実
践できるよう、精進しなければならないと痛感致
しております。

今後このようなことのないよう、人権の重大性
を認識し、患者様と良好なパートナーシップを築
きながら医療サービスの提供ができるよう研鑽に
努めて参ります。

Q 毎日多くの方がリハビリ目的で来院されて
いますが、障害者用の駐車スペースが2台で
は少ないです。普通の駐車位置ではドアを十分開
ける事ができません。

病院だからこそ誰もが利用しやすい施設であっ
てほしいので、ぜひ検討して下さい。

A 以前から障害者用駐車場が少ないとのこと指
摘があり、本館側に2台追加設置して、本館・
新館合わせて4台分の障害者駐車場を確保しました。

病院としても、もう数台分確保したいと思ひ
がありますが、限られた敷地内での対応には限界
があり苦慮しているところでございます。

本年5月に、本館側にもう1台分確保し、合計5
台となりました。十分な台数がなくご不便をおか
けて申し訳ございませんが、ご理解の程よろし
くお願い申し上げます。

C型慢性肝炎の診断と治療

日置診療所

日置診療所は旧日置川町からの要請を受け、2004年10月1日より白浜医療福祉財団が運営受託し、三舞診療所とともに内科を中心に診療を行っています。

さて、今回は肝臓病のお話をしたいと思います。現在わが国の肝臓による年間の死亡数は約3万4千人にも上ります。そのうちの8割はC型肝炎ウイルスが原因となっています。すなわち、C型肝炎ウイルスの感染が原因で慢性肝炎から肝硬変・肝臓がんに移行しやすいのです。慢性肝炎の状態ではこれといって自覚症状はありません。自覚症状が出たときはすでに肝硬変になっていることが多いのです。したがって、自覚症状の無い慢性肝炎の時に見つけて、治療を受けることが重要になります。

慢性C型肝炎の診断は血液検査で行います。血液検査で肝臓の細胞が壊れたときに血液中に出てくるGOTやGPTという酵素の値が異常値を示します。このような数値の異常がある場合はウイルスの抗体の検査を受けることをお勧めします。抗体が陽性の場合、さらにウイルスの遺伝子検査を行い診断します。

慢性C型肝炎の治療は大きく分けて肝臓保護療法と原因療法に分けられます。肝臓保護療法とは、注射薬や内服薬で肝炎の沈静化(GOTやGPTを下げる)を目指す療法です。それに対して、原因療法は原因となっているウイル

スを体内から排除することを目指す治療法で、インターフェロンという薬が使われます。肝臓保護療法では原因となっているウイルスを排除する効果は無いので、できるならウイルスの排除を目指す原因療法を選択するのが原則です。

インターフェロン療法にもいくつかの種類があり、そのどれを選択するかは患者さんのウイルスの型(C型肝炎ウイルスには大きく分けて1型と2型の二つのタイプがあります。)とウイルスの量等を考慮して決められます。2004年にペグインターフェロン(注射薬)とリバビリン(内服薬)の48週間投与が認可されてから、治療成績も向上しています。また、ペグインターフェロンであれば注射も週に1回で済みます。治療は原則として、初めの2週間は入院で治療を行い、その後は通院で行います。ウイルスが排除できればそれに越したことはありませんが、排除できなかった場合でもインターフェロン療法によってGOT、GPTを長期間できるだけ低い値に保つことができれば、肝硬変への進行や肝臓がんの発生リスクを軽減できることが報告されています。

健康診断や人間ドッグで肝機能の異常を指摘された場合は、そのままにせず、医療機関を是非受診してください。健康診断や人間ドッグは受けっぱなしでは全く意味はありません。



日置診療所所長 船曳 秀

プロフィール

1998年 3月 和歌山県立医科大学卒業
1998年 4月 和歌山県立医科大学附属病院診療医
2000年 4月 " 臨床研究医
日本内科学会認定医
日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医
2006年3月1日より新所長として船曳秀所長が着任しました。
消化器内視鏡の専門医としての経験、技術を生かし、地域の皆様に信頼される診療所を目指して参ります。

日置診療所 TEL52-2002	
診療科	内科
診療時間	午前9時～午後0時 午後2時～午後5時
休診日	土曜日 祝祭日 木曜日午後
担当医師	船曳 大久保(月・水曜日午後) 松尾(金曜日午前)

無料送迎サービスを開始いたしました。

患者様の利便性向上を目的に7月18日より、無料の送迎サービスを開始しました。

■ サービス日 月曜～金曜(8:30～12:30) ■ 自宅～診療所間の送迎を行います。



白浜はまゆう病院診療担当表

電話 **43-7880** (受付) **43-6200** (代表)

		内 科				外 科	整形外科	小児科	産婦人科	皮膚科	眼 科	耳 鼻 咽喉科	循環器 外 来	呼吸器 外 来	泌尿器科 外 来	神経内科 リハビリ 専門外来	心療内科 漢方外来	腫 瘍 内 科
		内科1	内科2	内科3	内科4	胃腸科												
月	午前	山崎	木下		佃	当番医	原	古久保	國部							小口		
	午後	伊藤	松本		佃		ギプス装具	古久保					伊藤					佃
火	午前	立田	伊藤			村山	リウマチ外来/金	古久保	國部				伊藤			佐藤/中西		
	午後	木下	伊藤		西		金(予約制)	古久保	國部	県立医大 京都大学	藤田		伊藤					
水	午前	山崎	松尾	大久保	谷口	高嶋	政田	古久保	國部					松尾		廣西		
	午後	松本	松尾	立田	谷口				國部					松尾			立田	
木	午前	小口	松尾	谷口		村山	金	古久保	國部					松尾		佐藤		
	午後	木下	松本				金(予約制)	古久保	國部			県立医大 (月3回)				小口		
金	午前	佐藤	山崎		伊藤	高嶋	政田	古久保	國部				伊藤			小口		
	午後	立田	山崎	木下	伊藤			古久保					伊藤					
土	午前	高村				当番医	第1・3 笹岡 第2・4・5 吉村	古久保		県立医大 京都大学						当番医		
	午後																	

白 浜 はまゆう 病 院		受付時間	診療時間	●休診 土曜日午後・日曜日・祝日 ※診療時間外(夜間・休日)に具合が悪くなったときは、 日時に関係なく受付しますので、白浜はまゆう病院へ 電話で連絡ください。
	午前(月～土)	8:30～11:30	9:00～12:00	
	午後(月～金)	13:30～16:30	14:00～17:00	
	眼科(火)	12:00～14:30	12:30～15:30	
	皮膚科(火)	13:00～15:45	13:30～16:00	

専門外来の お知らせ 当院では専門の医師 による専門外来を開 設しています	消化器専門外来	(佃医長)	毎週月曜日(受付 13:30～16:30)	(谷口院長)	毎週水曜日(受付8:30～11:30、13:30～16:30) 毎週木曜日(受付8:30～11:30)
		(西医師)	毎週火曜日(受付 13:30～16:30)		
	神 経 内 科 ・ リハビリテーション外来	(小口医長)	毎週月・金曜日(受付8:30～11:30) 毎週木曜日(受付13:30～16:30)	(中西医師)	毎週火曜日(受付8:30～11:30)
		(佐藤医師)	毎週火・木曜日(受付8:30～11:30)	(廣西医師)	毎週水曜日(受付8:30～11:30)
	リウマチ外来	(大阪市大病院医師)	第1・3火曜日(受付 8:30～11:30)		
	糖 尿 病 専 門 外 来	(水本医師)	毎週木曜日(受付13:30～16:30)		
	循環器・高血圧専門外来	(有田医師)	毎月2回土曜日(受付 8:30～11:00)		
	関 節 専 門 外 来	(金医長)	毎週土曜日(受付 8:30～11:30)		
	緩 和 ケ ア 外 来	(伊藤副院長)	毎週水曜日(予約制 14:00～17:00)		
	心療内科・漢方外来	(立田部長)	毎週水曜日(予約制 13:30～16:30)		



(財)白浜医療福祉財団

白浜はまゆう病院

●理事長 立谷誠一 ●院 長 谷口友志

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739 (43) 6200 FAX.0739 (43) 7891 【E-mail】hamayu@mb.aikis.or.jp 【URL】http://www.hamayu-hp.or.jp/



■西富田クリニック

〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1番地

TEL.0739 (45) 3600 FAX.0739 (45) 3678

■鮎川診療所

〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川583番地の3

TEL.0739 (48) 0031 FAX.0739 (48) 1005

■日置診療所

〒649-2511 和歌山県西牟婁郡白浜町日置206番地の1

TEL.0739 (52) 2002 FAX.0739 (52) 4192

■三舞診療所

〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居3番地

TEL.0739 (53) 0001 FAX.0739 (53) 0001

■訪問看護ステーション たんぽぽ

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739 (43) 5226 FAX.0739 (43) 0682

■白浜はまゆう病院在宅介護支援センター

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739 (43) 7870

◇2006年9月発行 編集・発行／(財)白浜医療福祉財団